

授業科目名 (英文名)	中国語 1 (F) (Chinese 1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	一年次・前期
担当教員	沈揚	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	現代中国語(普通語・共通語)の発音と文法体系を軸に、中国語の読み、書きを中心とした基礎的学力を総合的に習得することをめざします。前期修了の段階で、正確な発音の習得が第一目標です。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>中国語は世界の最多数の人々が母国語としている言語です。ここで学ぶ中国語とは、北京語音系を標準音とし、北京語の語彙を基礎とした、北京の人の話す言葉に近い、「普通語(プートンファー)」とよばれる中国の共通語です。</p> <p>授業計画 次の通り、テキストにそって授業を進めます。</p> <p>中国語とは</p> <p>発音編 (声調・単母音・子音・複母音・鼻母音)</p> <p>発音編 (唇音・舌尖音・舌根音・舌面音・そり舌音・舌歯音)</p> <p>発音編 (発音上の注意、簡単なあいさつ、教室用語)、第一課</p> <p>第二課：指示代名詞、動詞述語文、連体修飾「的」、疑問文</p> <p>第三課：形容詞述語文、時に関する表現</p> <p>第四課：指示代名詞、所有を表す文、短縮疑問文</p> <p>第五課：様々な疑問文、「了」、「喜欢」</p> <p>復習</p> <p>第六課：「在」、「了」、年齢・金額の言い方</p> <p>第七課：疑問詞、願望を表す助動詞</p> <p>第八課：可能を表す助動詞、動作の進行</p> <p>第九課：強調表現</p> <p>第十課：禁止表現、経験を表す表現</p> <p>復習</p> <p>到達度の確認(筆記試験)</p>		
テキスト	靳衛衛・中村俊弘・王峰『好きです・中国語(会話編)』朝日出版社 (食堂2階の生協で購入してください)。		
参考文献	<p>守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎』東方書店(学術情報館)</p> <p>杉村博文著『中国語文法教室』大修館書店(学術情報館)</p> <p>辞書：日中・中日辞典の入った電子辞書あるいはクラウン中日辞典(三省堂)、簡明中日辞典(東方書店)、プロGRESS中国語辞典(小学館)、簡約現代中国語辞典(光生館)などの辞書の購入を薦めます。</p>		
成績評価の基準・方法	簡単な聞き取りを含む定期試験の成績(80%)を中心に、平常点を加味(20%)して評価します。		
履修上の注意・履修要件	予習(CD、新しい単語の辞書引き)及び復習(練習問題)を欠かさないようにしてください。毎回出席をとります。この科目はAクラスからGクラスまで7つのクラスがあり、時間割も月曜日1時限目(A・Bクラス)と月曜日2時限目(C~Gクラス)に分かれています。新学期開始までに学務課前の掲示板に掲示するクラス分けに従って、決められたクラスで履修してください。また、新入生で「中国語1」を履修する学生は必ず「中国語2」も履修してください。		
実践的教育	該当しない。		
備考			